

## 四国のジオパーク

四国は、大陸プレートと海洋プレートが交差するいわゆる「沈み込み帯」に位置しています。何千万年以上にもわたるそれらの構造プレートの動きが多種多様な地層を形成し、この島のあらゆる地域で異なる姿を見せる、文字通り岩盤を作っています。下記の地図では多様な地層がそれぞれ異なる色で表されています。

・土佐清水（ジオパーク登録を目指している）

砂岩

泥岩

花こう岩

・室戸（ユネスコ世界ジオパーク）

玄武岩

砂岩

斑れい岩

・四国西予（ジオパーク）

石灰岩

凝灰岩

チャート

・三好（ジオパーク登録を目指している）

砂岩

砂質片岩

緑色片岩

泥質片岩

・讃岐（ジオパーク登録を目指す可能性あり）

安山岩

花こう閃緑岩

花こう岩

## 室戸ユネスコ世界ジオパークの見どころ

かつては深海マグロ漁で有名だった室津の町は、今でも室戸地域の人々にとって大事な食料供給基地となっています。

### [キャプション]

学ぶ：「港の上」の町とその港の間の高低差は、地震が地面を押し上げた結果できました。押し上げられた土地の上に、町が作られたのです。

食べる：地元の金目鯛（スプレンドイドアルフォンシーノ）を試してみましょう。この深海魚はごちそうと見なされており、沖合の海底の特徴のおかげでこの地域の広い範囲で捕れます。

歩く：海に依存するこの町の暮らしは、中道寺で守られています。この寺にあるクジラに捧げられた記念碑は、室津の歴史においてクジラ漁が果たしてきた大きな役割を訪問者に思い出させます。